

若狭町 議会だより



◆ もくじ

平成21年度決算……P2～3

9月定例会……P4

平成22年度補正予算……P5

一般質問……P6～9

議会活性化
議会の動き……P10

平成21年度 決算を認定

一般会計歳出総額 114億455万円

実質公債費比率 16.5%

公債費による財政負担の程度を示す数値
平成20年度対比0.2%悪化

消 防 費

3億8,528万円 3.4%

負担金 3億8,315万円
消火栓新設工事負担金 90万円

負担金の内訳は
敦賀美方消防組合 2億0,983万円
若狭消防組合 1億7,333万円

議 会 費

9,464万円 0.8%

議員報酬 5,166万円

公 債 費

12億7,554万円 11.2%

教 育 費

22億5,883万円 19.8%

三方中学校改修事業 8億1,168万円
小学校整備改修事業 4億0,315万円
ICT環境整備事業 1億8,658万円
給食センター事業 1億1,678万円
佐久間記念館建設事業 9,479万円
公民館活動事業 3,559万円
スクールバス等通学事業 3,245万円
熊川保存整備事業 3,174万円
図書館運営事業 1,072万円
縄文博物館管理運営事業 508万円

国際交流事業の一人当たり経費は 32万円
内4割助成 引率者6割補助
熊川いっづく村への補助は 実行委員会へ190万円

商工・労働費

3億3,042万円 2.9%

若狭路もてなし食フェア事業 6,143万円
商工会育成事業 1,180万円
ツーデーマーチ 500万円
若狭紅映梅産地支援事業 263万円
観光環境整備事業 3,029万円

観光環境整備事業の内訳は
名水公園整備 482万円
石観音駐車場整備 1,622万円
熊川四季彩館整備 727万円
舟小屋整備 7万円
案内板整備 63万円
クエ養殖事業は21年度で廃業

農 林 水 産 費

11億2,364万円 9.9%

農道用排水路等整備事業 2億2,123万円
有害鳥獣対策事業 9,458万円
森林保全事業 9,361万円
生産組合認定農業者等育成事業 6,158万円
堆肥化施設負担金 5,533万円
農地・水・環境保全向上対策事業 1,745万円
間伐材集合利用促進補助事業 220万円

間伐材集合利用促進補助事業の内訳は
(若狭管内) 上中 161万円
(二州管内) 三方 59万円
新規就農者支援事業の小農具は
100万円以下で1回限り 小型耕運機等

土 木 費

8億9,974万円 7.9%

町道整備事業(13ヶ所) 2億0,584万円
町道維持補修事業(26ヶ所) 3,097万円
急傾斜地対策事業(5ヶ所) 1,270万円

黒字 は委員会での質問 緑字 は委員会での答え

歳入 自主財源 29.2%
依存財源 70.8%

町民一人当たり 688,722円

(人口 H22.3.31現在16,559人)

総 務 費

19億1,446万円 16.8%

定額給付金事業 2億2,190万円
琵琶湖若狭湾快速鉄道積立金 5,010万円
携帯電話基地局等整備事業 3,269万円
地上デジタル放送対応テレビ事業 3,185万円
庁用自動車購入事業 1,908万円

スマートインター調査の結果は中日本・県・町で協議中

民 生 費

19億4,254万円 17%

保育事業 5億4,746万円
後期高齢者医療事業 1億7,128万円
介護給付費事業 1億2,915万円
児童手当事業 1億1,567万円
パレア若狭施設管理運営事業 9,167万円
心身障害者(児)医療無料化事業 8,337万円
訓練等給付費事業 8,816万円
社会福祉協議会事業 2,440万円

パレアの湯の年間利用者は 6,335名
内訳 町内 3,635人 町外 821人 子供 634人
その他団体入浴券 1,245人

衛 生 費

11億5,174万円 10.1%

ゴミ処理関連事業 5億1,115万円
小浜病院負担金 1億2,720万円
レイクヒルズ負担金 1億1,785万円
斎場施設整備運営事業 5,349万円
母子健診事業等 2,710万円
成人保健事業等 1,555万円
老人保健事業等 1,397万円

清掃総務費の内訳は 上中 7,899万円
三方 2億8,701万円

ねえねえミスターさん、21年度に使ったお金って、20年度より多いみたいだよ。

それって無駄遣いが増えたの？

ああ、あれも町の支出に入るんだ。

大きな工事があるのとは、随分違って見えるんだね。

そうだね。町民一人当たりすると10万円ほど多いね。

いやいや、21年は景気対策で、国の交付税が臨時的に増えたんだよ。ほら、定額給付金って国民すべてにもらったのを覚えてないかな？

そうだよ。そういう臨時的な予算を使った事業がいろんな形で使われたね。一番大きかったのは、小中学校の耐震化工事だね。だから教育費は20年度に比べて大幅に上がっているよ。それに比べて、衛生費は、20年度に斎場の工事が終わったから、21年度は少なくなっているね。

そうだね。大きな事業は国の補助なしで行うことは難しいから、結果的に町独自の収入である自主財源の割合も減ってしまうね。

特別会計決算

会 計 名	歳 出	会 計 名	歳 出
国民健康保険特別会計	15億9,573万円	農 労 災 共 済 特 別 会 計	324万円
老人保健特別会計	542万円	農 業 集 落 排 水 特 別 会 計	4億7,449万円
後期高齢者医療特別会計	1億7,012万円	漁 業 集 落 排 水 特 別 会 計	3,160万円
直 営 診 療 所 特 別 会 計	831万円	公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	6億5,546万円
介護保険事業特別会計	13億9,618万円	町 営 住 宅 等 特 別 会 計	1億4,685万円
簡易水道事業特別会計	1億5,187万円	土 地 開 発 事 業 特 別 会 計	3,298万円

9月定例会

9月定例会は9月7日より27日迄の21日間の会期で開かれました。

- 平成21年度決算2件を認定し、平成22年度一般会計補正予算など、15議案をいずれも原案可決しました。(内13議案を常任委員会で審議) 請願4件の内3件を不採択、1件を継続審議としました。
- 議員発議による意見書を上程し、原案可決しました。

教育厚生常任委員会

○国民健康保険法の改正に伴って若狭町国民健康保険条例を一部改正しました。

○「若狭町テクノパーク」の指定管理者が若狭町シルバー人材センターに決定しました。

主な質疑事項

問 指定管理する時間帯は、また現在の管理は誰が行っているのか。

答 午前8時30分から午後5時まで。

問 現在の管理は臨時(パート職員)を募集し、9月末までの契約となっている。

答 要望として管理時間の徹底等、細かいところまで配慮してほしい。

問 今後、指定管理者と十分協議していきたい。

答 障害者福祉協会上中地区との今後の対応は、障害者の雇用について、指定管理者との協議を考えている。

問 公の施設指定管理者選定審議会委員について、委員は団体の長が選任されているが、教育委員会だけ委員長でないのはなぜか。

答 各団体の互選で選んでいただいた。

問 指定管理者の応募は誰でもいいのか。

答 法人、その他の団体となっている。

総務産業建設常任委員会

○新規就農者の育成及び定住促進と農村活性化を目的に旧野木保育所と周辺施設を運営されてきたがこれを指定管理にします。

主な質疑事項

問 指定管理の目的は、経費の節減、住民のニーズに対応しやすく、

民間とのパートナーシップ向上に効果的であると考えた。

問 町の施設と個人やグループで運営する施設の整合性はどうか。

答 連携が必要。連絡協議会的なものを検討する。

○請願第三号(継続審査) 日本軍慰安婦問題の解決をめざす法制定を求めるもの。

答 法的、国政的レベルであり動向を見る。

問 近隣の扱いや住民の信頼が得られるか。

○請願第四号 FPA(経済連携協定) FTA(自由貿易協定)推進路線の見直しを求めるもの。

○請願第五号 米価の大暴落に歯止めをかけることを求めるもの。

答 現況は地方や品種等において価格もばらつきがあるうえ、在庫量も適正かわからない。時期的にも最終の数値が出ていない。

○請願第六号 免税軽油制度の継続を求めるもの。

○請願第七号 地方財政の充実強化を求める意見書の提出について

・近年の経済状況の悪化を懸念する上から重要。採択

予算決算常任委員会

○平成21年度決算について

主な質疑事項

問 まちづくりに関する職員のアンケート未回答者が20名程いるがなぜか。

答 休暇や臨時の職員、または病院などの交替業務の者等。

問 外国人観光の誘客に英語等の看板やパンフレットが必要。

答 パンフレットは作成済み。看板は2枚作った。姉妹都市等交流センター事業はCネットに委託されている。契約をきちんとしているのか。

問 対応している。

答 税滞納者の措置は。

問 国保税は保険証の交付止めや滞納整理機構に委託したり、預金の差し押さえをしている。

答 その他、地デジ対応テレビ購入実績、ツアーメーカー等実行委員会形式のもの決算報告、小浜市し尿処理の委託内容、各課の食糧費、消耗費の内訳、レイクヒルズ美方病院町負担分について資料の提出を求め、説明を受けた。

問 また、レイクヒルズ美方病院と小浜病院、上中病院で一般会計から4億円程度支出している。今後病院の運営について検討を要すること。佐久間記念館建設事業の決算について実行委員会と町でやる分をはっきりさせるべきとの意見がでた。

○平成22年度予算について

主な質疑事項

問 MMネットのデジタル化の予算が計上されているが、チャンネルの分はどうか。

答 来年度の当初予算で計上したい。

問 嶺南連携事業用地測量の三千万円減額は見積もりがいいかげんすぎる。

答 基本計画が明確でなかった。

問 町内で空き屋が258軒とあるが、所有者は判明し所在がはっきりしているか。

答 175軒解った。

平成22年度 補正予算

会計名	補正額	合計額
一般会計	5億9,468万円	99億2,572万円

一般会計 主な事業

事業名	金額	事業内容	金額
塔ノ協団地用地測量費	200万円	農村総合整備事業・獣害防止	469万円
若者出会い交流・まちの魅力発見	125万円	地域振興商品券事業	470万円
MMネットデジタル放送システム構築	8,023万円	除雪対策費	5,676万円
乳幼児等予防接種事業	435万円	地域再生事業費 10号線	550万円
インフルエンザ対策	434万円	みんなでつくる原材料費支給事業	400万円
緊急雇用創出事業	947万円	防災拠点施設整備(上中分署調査)	2,374万円
園芸産地総合支援事業補助	1,559万円	交通安全対策事業(ミラー・ガードレール)	300万円
再生可能エネルギー導入事業ポンプ電源	346万円	鳥獣害のない里づくり推進事業	4,700万円

主な収入

地方交付税	1億9,600万円
国庫支出金	233万円
県支出金	4,849万円
繰越金	2億4,324万円
財産収入	1,330万円
繰入金	8,702万円
町債	1,130万円

平成22年度特別会計

会計区分	補正額	合計額
国民健康保険	238万円	16億7,783万円
老人保健	407万円	422万円
後期高齢者医療	10万円	1億7,296万円
介護保険	1,779万円	14億7,154万円
簡易水道事業	3,925万円	1億5,914万円
農業集落排水処理事業	1,082万円	4億0,186万円
公共下水道事業	1,271万円	5億7,159万円
町営住宅等	145万円	1億4,916万円
水道事業	1,240万円	3,247万円

議員賛否一覧

下表以外の議案は全員賛成で可決しました。議長は採決に加わりません ○賛成 ×反対

議案等名	議員名	採決月日	中村正彦	増井九右衛門	松本孝雄	小林和弘	小堀信昭	中島正昭	大塚季由	藤本勲	清水利一	小堀友廣	武田敏孝	藤田美穂	福谷洋	松岡喜一	北原武道	柘原直仁	藤本佳司	霜中茂実	採決月日	
平成21年度若狭町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について		9/27	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
日本軍「慰安婦」問題の解決をめざす法制定を求める意見書採択を求める請願書(平成22年6月議会継続審査) 不採択について		9/27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
EPA・FTA推進路線の見直しを求める請願書不採択について		9/27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
米価の大暴落に歯止めをかけることを求める請願書不採択について		9/27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
免税軽油制度の継続を求める請願書の継続審査について		9/27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27



清水利一 議員

鳥獣被害は、包括的な対策強化を

町長

地区区長会等で検討して頂きたい

清水 金網柵のない空白地帯では全体的に囲わないと効果がなく、もはや地元負担も限界である。空白地帯の基準と明確化を図り、一体的な取り組みの考えは。

嶺南地域有害鳥獣対策協議会の中で状況把握と情報交換を行い、連携を密に取り組んでいきたい。

清水 県では設置や維持管理に容易なネット柵に対する補助制度を新設方針だが、町の計画は。

町長 ネット柵の設置については、情報提供をしっかりと行い、従来の負担制度に基づいた事業化を、県と協議しながら進めていきたい。

清水 捕獲について国の支援がない中、県の助成で個体数削減計画とモデル的に実施された巻狩り作戦の検証と継続は。

町長 捕獲効率が悪か



金網柵切れ目箇所（中野木地域）



松本孝雄 議員

若狭町祭り実施について

町長

今後の在り方を十分議論していききたい

成された検討委員会での提言を受け若狭町祭りの実施に至った。

今回の祭りの実施について多くの意見は、十分な周知の時間がなかったと言ったことであった。今後、開催時期、開催場所、従来の祭りの事や観光資源としての在り方等を含めて十分議論をし、次期祭りの開催に向けて、いろいろなご意見をいただき決定していききたい。

一つの案として観光協会の本部事務所として活用できないか、協会の決議が必要であるが、町長の私見を伺う。

町長 早急に何らかの観光振興施設として活用していく必要がある。縄文プラザの整備経緯を十分に踏まえ、道の駅として整備できないか県当局と協議をしている。活用については関係団体と検討し協議を重ね進めて行く。



縄文プラザ

町長 昨年は嶺南市町持ち回りの「食フェア」を若狭町で開催し、その機会を受け「名水祭り」「縄文祭り」は実施していない。また、財政的な面や住民意識調査の結果を検討して来た。町民の多くの皆さんで構

町長 現在は、縄文プラザ内の農産物販売施設は営業中だが、観光物産センターは遊休状態である。数ヶ月前まではレストランや遊覧船事務所として使用されていた。今後の利用計画の有無を

縄文プラザの遊休施設利用について



小堀信昭 議員

町内土砂災害警戒区域の施設は何ヶ所か

町長

三方地域2施設、上中地域12施設

度中に作成し全戸配布する。

観光に森林セラピーを

小堀 町の重要産業である観光だが、好況時と違い、入りこみ客は減少の一途をたどっている。民宿全盛時代と違い、旅行スタイルが変化している。

現在第7期森林セラピー基地を募集している。観光開発に山間の森林浴を利用し科学的、医学的に癒し効果を解明して健康増進ができる予防医学の視点から森林セラピーを取り入れられないか。

町長 町内にはいくつ



武田敏孝 議員

来年度以降の祭りはどうするのか

町長

各地域から推薦された町民による検討の場を設ける

を設置した。

その結果、1つには若狭町らしい新たなイベントをゼロからつくる。2つには若狭町の豊かな食をテーマにしたイベントをつくる。3つには住民参加、住民主体のイベントをつくるとの提言を頂いた。

また「若狭祭りを語る会」で意見を頂き、それ

をもとに実行委員会を開催し、期日や場所を決定した。

来年度以降の祭り、その時期、場所、内容については、今年の祭り終了後に早急に検証を行い、各地域からの推薦を頂いた町民の方々の参画による検討メンバーの意見を賜りたい。



河内森林公園

町長 町財政や住民意識調査を踏まえ、昨年度開催した「食フェア」を機に今後のイベントの進め方について検討委員会

また、来年度以降祭りをどうするのか、日時、場所、内容をどう決定するのか伺う。



若狭祭



小林和弘 議員

国道303号線の改良整備と安全確保を

町長

県知事を含む関係各位に強く要望中

小林 高速道路無料化の影響で国道303号線の交通量が増加。特に県外ナンバーの大型車が増え、走行中恐怖を感じている。

仮屋、熊川、大杉で改良整備が必要だが、特に熊川のバス停付近は歩道や横断歩道もなく、道路拡幅を含む改良整備が早急に望まれる。

大杉地係はがけ崩れや法面からの落石の恐怖がぬぐえず、風化や劣化を考えると定期的な調査が必要だ。2年前の悲劇を繰り返さないための対策は。

町長 303号線の交通量増大に対し、周辺環境整備と安全確保の必要性を十分認識している。



国道303号線熊川地系

寄付金・賛助金・協力金等の徴収方法について

小林 我が町では納税義務の一つとして半強制的に徴収されている。徴収方法の検討と会計報告の開示を。

8月末に知事をお願いし、小浜土木事務所と歩道・バス停留帯等、バス停の整備に向けて協議を行っているが、用地の提供がなければ前進しない。

町長 今後区長会を通じて、あくまで自主的な協力であることを確認して頂き、会計報告についても判りやすく報告するよう各団体に要請していく。



北原武道 議員

高校生の通学費を

町が補助できないか

町長

補助金の制度化は困難である

北原 9月8日の福井新聞に「教育支出 日本たまた最下位」という記事がある。国が庶民生活の応援をしないので、自治体がしなければならぬ。

おい町では、10月から高校生の通学定期代の半額補助を開始する。美浜町では、同じく三分の一補助を、すでに実施している。

本町でも高校生の通学費を補助できないか。

町長 おおい町と同じ、通学定期代の半額補助を行った場合、90万円から1千300万円の町費が必要になる。補助の制度化は困難と考えている。

「若狭町英霊奉賛会」への町との関与は憲法違反では

北原 政府主催の全国戦

没者追悼式では、戦没軍人だけでなく、戦災犠牲者なども含め全戦没者を追悼している。この行事の事務は厚生労働省が行い、国費も投入されている。一方若狭町戦没者追悼式では、追悼の対象は戦没軍人だけである。しかも戦没軍人を英霊として顕彰している。これは、福井県英霊顕彰奉賛会の目的である。英霊は靖国神社や護国神社の祭神である。国家神道に行政が関与する訳にはいかない。町長は戦没者を英霊と呼ぶのではなく、戦争犠牲者として、行政ぐるみ町を挙げて追悼するべきである。

ても、このような私的な組織に、町費や町職員を使うことは、憲法89条「公金その他の公の財産は、宗教上の組織若しくは団体の使用、便益若しくは維持のため、又は公の支配に属しない慈善、教育若しくは博愛の事業に対し、これを支出し、又はその利用に供してはならない」に違反する。

ところで6月の町長答弁によれば、若狭町英霊奉賛会は、町長が私的に会長をしている私的な組織である。仮に、会の目的として遺族に対する福祉の思いが町長の頭の中にあつたとし

町長 私の思いの中で答弁する。町としても英霊に感謝の念を表わし、後世に戦争の悲惨さを伝える必要があると思う。平和の大切さを再認識し、遺族の援護福祉の一環として、町費および町職員を使うことは、違憲でもなく、町民の意向にも沿っていると考えている。



増井九右衛門 議員

三方診療所の招聘医師の赴任を断ったのは事実か

町長

診療所の存続は協議を重ねたい

増井 三方診療所の招聘医師の確約がとれたのに、医師会から町の医療に協力しないとの事で赴任を断ったのは事実か。招聘している医師は来年3月末で退職願を提出と聞く。招聘できない時、補償問題が発生した時の責任を何う。

また、この診療所を拠点として、開業医も利用できる医療機器を整え、大病院と連携できる体制を構築し、住民ニーズに応える地域医療を充実する考えはないか何う。

町長 診療所の存続は既得権の考えで、医師会の理解を得べく協議を重ねたい。今は補償問題より、招聘している医

水道計画に町民の理解を得る方策は

増井

水道基本設計計画がなされていないのに単に地域間格差があるとの事で平成23年度から料金改定し、三方地区は最終的に35%の値上げになる。町民の理解は得られない。

集落行政報告等で町民に十分説明し理解を得るべきで方策を何う。



三方診療所

町長 基本計画の予算案は今議会に上程で、具体的説明は、時間的にも資料的にも不十分で23年度からの料金改定は少し遅れることを理解願いたい。

住民説明については、基本計画の進捗状況にもより財源の調整と時間を要する。

水道計画、公共料金改定に当たっては集落座談会が必要と認識している。



柘原直仁 議員

離岸流による水難事故について

町長

食見海岸の人工岬には、離岸流防止策がとられている

町長 食見海岸に整備されている人工岬は、国土交通省の整備事業で福井県が事業主体となっており、人工岬の横には海底か

ら海面下30mの海中にせん堤が設けられている。このせん堤があるため、高速の離岸流が発生しない仕組みになっている。



食見海岸の人工岬

人工岬は、海岸から突き出す丁字形の構造物を設置することで海岸線を湾状にし、海辺の砂の流出を防ぐために、食見海岸に一基設置されている。昨年茨城県では5名が離岸流事故で死亡している。

食見海岸のヘッドランドの水難防止対策はどうか。

「議会活性化」ってご存知ですか？

地方議会の在り方が問われる昨今、全国の自治体議会でも、「議会」はいかにあるべきかが話し合われています。若狭町議会においても、昨年の6月議会において特別委員会を設置し、9名の委員が議会活動・議員活動を活性化するには何から始めれば良いのか話し合い、出来る部分から少しずつでも変えて行こうとしています。

議会って何をしているか見えますか？
少しでも見て頂けるように・・・

☆ケーブルテレビの文字放送によって、議会に提出されている議案を広く公表し、意見が集まりやすくなる。また一般質問の内容も事前に告知し、傍聴やテレビ放映などを見てもらう機会を増やす。

☆議員がどう判断しているか見えるようにするために、議会だよりに賛否一覧表を掲載する。

☆議会だよりを町のホームページに転載し、より多くの人に見てもらえるようにする。

☆住民と議員が話し合いや意見交換をする場を増やす。

一歩ずつではありますが、今後も議会が活発に活動できるよう改革を進めて参ります。

議会の動き

7月21日	議会全員協議会 議会運営委員会	21日	予算決算常任委員会 議会活性化特別委員会 議会運営委員会
26日	北川総合開発対策協議会	24日	常任委員長会
28日	若狭地方町村議会議長会先進地視察	27日	議会本会議（閉会）
8月5日	準立地要望活動	10月3日	公立小浜病院組合議会 第11回熊川いづく時代村大会
8月6日	琵琶湖若狭湾快速鉄道同盟会総会	4日	国道303追分隧道開削促進期成同盟会、京都大原今津小浜間期成同盟会要望活動
8月8日	北陸新幹線建設促進大会及び北陸新幹線建設促進同盟会総会	7日	広報特別委員会
9日	小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会	12日	若狭消防組合議会定例会
10日	小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会	12日	教育厚生常任委員会研修
23日	議会全員協議会	13日	若狭町戦没者追悼式
8月24日	嶺南広域行政組合議会行政視察	14日	広報特別委員会
8月25日	敦賀美万消防組合議会行政視察	16日	松木神社例大祭
8月26日	公立小浜病院組合議会	18日	議会活性化特別委員会
8月27日	綾部・小浜・敦賀間国道編入並びに整備促進期成同盟会総会	22日	議会全員協議会 議会運営委員会
9月1日	若狭消防組合初期消火技術大会		
2日	議会運営委員会		
3日	議会全員協議会		
7日	議会本会議（開会）		
13日	議会本会議（一般質問）		
14日	予算決算常任委員会		
15日	予算決算常任委員会		
16日	総務産業建設常任委員会		
17日	教育厚生常任委員会		
20日	第1回若狭町まつりー若祭ー		



町内へ飛来したコウノトリ

編集後記

「暑く寒くも彼岸まで」とはよく言ったもので、彼岸を境に今夏の炎暑が嘘のように涼しくなり夏バテの身体も元に戻りました。そんな中、庁舎横で自衛消防操法の訓練に励む同僚消防議会議員の練習を横に見て、原稿の内容に誤字・脱字が無く簡潔明瞭正確に書けているかを老眼に鞭打ち！ただだ、今年度の議会だよりの広報委員として、どうしたら住民の皆様にお読みいただけるかと四苦八苦の6人のうちの一人です。

お一人でも多くの住民の皆様読んでいただき、ぜひ傍聴に、お出でいただくと同時に議会活動にたいしての意見等お待ちしております。

(小堀信昭)

